

問題

① 以下は、日本国憲法の条文である。(A) ~ (G) にあてはまる数字や語句、言葉を書きなさい。

第 (A) 条 国民は、すべての (B) の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する (B) は、(C) として、現在及び将来の国民に与へられる。

第 (D) 条 この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の (E) によつて、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであつて、常に (F) のためにこれを利用する責任を負ふ。

第 (G) 条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、(F) に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

② 1989 年に国際連合総会で採択され、日本も 1994 年に批准した、子どもの基本的人権を国際的に保障することを目的とした条約を何というか。

③ こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、2022 年 (令和 4 年) 6 月に成立し、2023 年 (令和 5 年) 4 月に施行された法律を何というか。

①	A	十一 (11)	B	基本的人権	C	侵すことのできない永久の権利		
	D	十二 (12)	E	不断の努力	F	公共の福祉	G	十三 (13)
②	子ども (児童) の権利条約		③	こども基本法				

問題

① 日本国憲法では平等権に関してその内容が明記されており、以下はそれを示した条文である。(A) ~ (D) にあてはまる数字や語句、言葉を書きなさい。

第 (A) 条 すべて国民は、(B) であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は (C) により、政治的、経済的又は社会的関係において、(D) されない。

② アイヌ民族や文化、伝統に関する知識の普及と啓発を図るために 1997 年に制定された法律を何というか。

③ アイヌ民族を先住民族と初めて明記し、差別の禁止を定め、観光や産業の振興を支援するために 2019 年に制定された法律を何というか。

④ 職場で生じている男女間の格差を是正して、男女の均等な機会・待遇を実質的に確保するために 1985 年に定められた法律を何というか。

⑤ 男女が同じ立場で参加し、責任を共に分かち合う社会をつくるため 1999 年に制定された法律を何というか。

⑥ 障がいのある人や高齢者が社会の中で安全で快適に暮らせるように妨げになるものを取り除こうという考え方を何というか。

⑦ 障がいのある人の法律や制度について基本的な考え方を示した法律を何というか。

①	A	十四 (14)	B	法の下に平等	C	門地	D	差別
②	アイヌ文化振興法		③	アイヌ民族支援法	④	男女雇用機会均等法		
⑤	男女共同参画社会基本法				⑥	バリアフリー	⑦	障害者基本法